

用途の経過及び感想等

ギャラクシティ施設(見学) 東京都足立区栗原 1-3-1

施設の目的

子供達が遊びや体験を通じて夢やチャレンジ精神を育む区立の施設です。

開館以来延べ約 180 万人の親子が来館しているそうです。

大宇宙から地球の現象、文化まで楽しみながら世代間交流、親子のふれあいを深め、知・感・体・心を通して、創造力や想像力が養われるフィールド施設でした。

ひとものづくり科学館(見学) 石川県小松市こまつの杜 2 番地サイエンスヒルズこまつ内

施設の目的

ヒルズミッション等のイベントを開催し又、科学的な体験、実験を通して子供から大人まで知的探求心を身に付け育む展示場、工作室、実験室を備えた施設でした。

こまつアグリウェイプロジェクトについて 石川県小松市

小松市ではなだらかな丘陵と川と湖を利用して昔から農業の盛んな地である。

平成 24 年、建機大手コマツがプロジェクトリーダーとなり、小松市と JA 小松が 6 次産業推進へ連携協定の締結を行った。小松市の目的は、農業が発展の軸の一つと考え、コマツから資金と経営面(ものづくり)のノウハウについて支援してもらい、JA 小松から農産物や農業技術の提供を受け、トマト・大麦などの地元農産物の集積、加工、販売を一元化しながら 6 次産業化の拠点づくりを目指した事業を推進し、農林業で地域活性化させ、田園風景、里山の振興と保全が図られ、農業を元気にする、ひいては農業の振興と農家の所得向上を目的とし、人材の育成、食育の教材、人材の活用、商品価値の追求と交流人口の拡大を目指している。

又、JA 小松は今回、施設園芸部会青年部の農家 5 軒に、特産のトマトの収量、品質向上を図る為、平成 25 年 5 月に NEC と農業 ICT ソリューションを導入(農業クラウド)、この仕組みは、環境センサーが検知した温度、湿度、炭酸ガス、日照の情報を定期的にクラウドを使い、パソコンやスマートフォンなどの画面上で農業現場の環境情報をいつでもどこでも参照することが出来、IT 導入による栽培環境の可視化により、ハウス内の栽培環境変化を把握できるようになり、栽培状況実績との突合による栽培手法の改善に取り組めるようになった(現在検証中)。

又、ハウス巡回が効率化された。

今後、他の農作物にも導入するよう考えている。